



都市計画道路補助131号線一方通行保持に関する陳情

(19 陳情第 44 号)

受理年月日	平成19年9月21日
陳情者	 

(要旨)

裏面のとおり

杉並区議会

陳情の主旨

補助第131号線は多くの区民が頻繁に使う重要拠点です。大多数の住民の安全の強い思いも真摯に汲み取り、是非政策に反映して下さる様、今の現状を鑑み、安全が確認出来るまでの間、一方通行保持を強く陳情いたします。

陳情の理由

1. 荻窪駅南口バス交通は、杉並区の弱点である南北交通を支え、補いつけており、これは南口住民の大動脈でもあります。荻窪北口に次ぐ、区民の利用する公共交通の拠点了。杉並区の道路事情から、成田西地域、南荻窪地域等の公共交通の不便地区が多く存在しており、更に荻窪駅には自転車や徒歩で駅に来られる人が多い所です。又、南口の横断歩道は、地下道が開通したにも関わらず多くの人が通行しています。ラッシュアワー時の現場周辺を見ると、現在一方通行であるからとばかり大至急通行を止めず運行維持出来ていると見受けられます。

1. 平成18年9月14日の説明会の中の杉並区は「相互通行を可能に現状のタクシー乗場周辺の客待ちタクシーを4~5台のみにする」意を説明されました。しかし、これはありえない展開です。緊急を要する客は、なかなかタクシーに乗れず、かつタクシー乗場に入りきれない客待ちタクシーは、仕方なく、生活道路に入りこんで循環し渋滞が起り、地域住民、利用者の安全が脅かされます。区内No.1の交通結核拠点である荻窪駅の南口も、区民の足であるタクシーが4~5台のみの停車とは、論外です。深夜帰宅、病院への通院者、又は緊急時など、タクシー交通はかけがえのり私達の足です。タクシーは、区民の足の確保として不可欠な公共交通です。

1. 荻窪南口と三菱銀行の前の道路幅は、エレベーターが設置され大変狭いのが現状です。そこにタクシーが止まり、バスや一般車両が通り、横断歩道があると状況です。ホトルックにはどのような状態の道で人が安全に通行出来るのか、更にその状態で相互通行不可能であると思われれます。

1. とこの現状をふまえて、一方通行を継続し、交通困難地域へのミニバスの運行、バス停をより使いやすくする、タクシー乗場の拡充、自家用車の駐車場所の確保など、一方通行で交通規制をしているからこそ可能で、利便性のある「駅前広場」作りを再検討します。

この事は「荻窪」の問題でありながら「杉並区」の大至急問題です。この道路の利用者は余りにも多くと小至急まで南口の住民が安全を求め真摯に取組むんだのは初めてです。区は区民の熱い思いも真摯に受け止め、安全が確認出来るまでの間、一方通行保持の使用形態に決定以下は心からの陳情いたします。